

レジストリ・レジストラ 関連状況報告

第68回ICANN報告会: 2023年11月30日
株式会社インターリンク
JACOB WILLIAMS



78

ANNUAL
GENERAL
MEETING

HAMBURG



ICANN78: Annual General Meeting (年次総会): レジストリ・レジストラ関連



GNSO: RrSG Membership Meeting – (レジストラ部会)

2023年10月24日 (火) 09:00 – 16:00 (3つのセッション)



GNSO: RySG Membership Meeting – (レジストリ部会)

2023年10月24日 (火) 09:00 – 16:00 (3つのセッション)



Contracted Parties House Session (CPH) – メンバーシップミーティング

2023年10月24日 (火) 16:30 – 17:30

レジストラ部会 (RRSG)



レジストラ部会の主要な話題

- DNSアビューズアmendメント
- 登録者データポリシー
 - Registration Data Request Service (RDRS)
 - Registration Data Implementation
- ICANN認定レジストラデータエスクローエージェント移行 (Registrar Data Escrow Transition)
- AGP (登録猶予期間)制限ポリシー (AGP Limits Policy)
- NIS2指令 (NIS2 Directive)
- 新gTLD Subpro

レジストラ部会 (RRSG)



Registration Data Request Service (RDRS)

- 11月28日にデータリクエストを受付開始します。
- 最大2年間くらい運用される予定です。
- 毎月システム使用関連の統計などを公開する予定です。
- ICANNのRegistration Data Request Serviceに参加したいレジストラは簡単にNSp(ICANNのレジストラサービス管理パネル)にてサインアップを行えます。
- 参加するレジストラはNSp上でリクエストを処理することになります。

レジストラ部会 (RRSG)



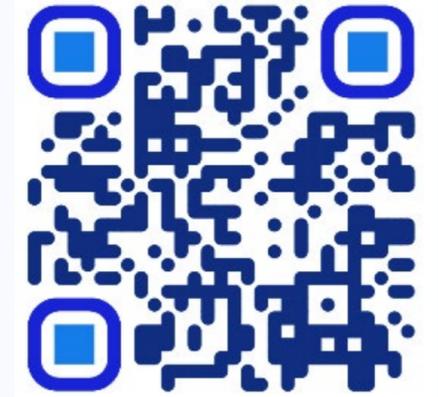
登録者データポリシー

(Implementation Buffer)

ポリシーの導入期間について:

- パブリックコメント期間のあとに2025年に導入日が設定されるような文言となりました。レジストラにとっては一斉の導入より、最初に決められた期間内に導入作業を行うことが望ましいとの意見が多いです。
- 元の計画通り: 18ヶ月間の導入期間になりました。
 1. ポリシー公開
 2. 6ヶ月のシステム準備期間
 3. 12ヶ月の導入期間

レジストラ部会 (RRSG)



2023年11月28日時点のポリシー



登録者データポリシー

(Urgent Response Timeframe)

緊急対応のタイムフレーム(Urgent Response Timeframe)の議論がIRT内で解決出来ず、GNSOは別の案件として検討することになりました。

- 「緊急対応」をポリシー上に定義すべき
- ポリシー指定の回答期間は「24時間以内」だったが、この短い期間では多くのレジストラが対応しきれないというディスカッションがあり、RrSG内では回答期間の見直しを求めています。

ICANN理事会は、登録者データのリクエストが、法的機関が示す緊急の定義を満たすほど緊急性の高い場合でも、データ取得の最善の方法がリアルタイムではない(レジストラからの24時間以内の回答を待つ)ということで問題ないのか、という疑問を持っているようです。

レジストラ部会 (RRSG)



レジストラデータエスクローエージェント移行

- ICANNは認定データエスクローエージェント(DEA) をNCC Group (旧Iron Mountain) からドイツのDENICに変更することになりました。
- ICANNによるデータエスクロー費用負担を希望するレジストラで、現在NCC Groupを利用している場合は、DEAをDENICに変更する必要があります。
- 旧エージェントの契約更新の120日前までにICANNから通知が送られます。その通知を受け、契約更新の75日前までにエージェント変更希望をICANNに通知する必要があります。
- DENICのオンボーディング手続きは各レジストラが行います。
- レジストラデータエスクロー義務やポリシーの変更はありません。

レジストラ部会 (RRSG)



AGP (登録猶予期間)制限ポリシー (AGP Limits Policy)

- AGPポリシーとはドメインテイスティング(試し登録)という問題を回避するため、2009年に導入されたポリシーです。ドメイン名を登録してすぐに廃止する数を制限するために存在しています。

「新規登録の10%、または月50件のうちいずれか大きい方を超過したドメイン名はAGP中に削除しても返金されません。」

- 2023年の夏から、RySGとRrSGは協力して現在のポリシーの改善点を共有することにしていました。8月から、レジストラ・レジストリからの代表が会議を行って、AGP Limits Policyの変更点の議論を開始しています。
- レジストリは初期にはあまり受け入れてくれませんでしたでしたが、時間の経過とともに問題がより理解できるようになりました。

レジストラ部会 (RRSG)



NIS2指令 (NIS2 Directive)

- EU加盟国の新たなサイバーセキュリティ要件です。
- 2023年1月に採択され、2024年10月より各EU加盟国で施行されます。
- レジストリとレジストラによって登録者のバリデーション/ベリフィケーションを実施する義務が生じます。
- 現行のRegistration Directory Serviceポリシーはフレキシブルで、変更は不要と考えています。

レジストリ部会 (RYSG)



レジストリ部会の主要な話題

- IDN Tables
- DNSアビューズチームの今後の活動
- レジストラ間移転 PDP アップデート
- New gTLD Subpro:
 - Singular and Plural
 - Additional Topics

レジストリ部会 (RYSG)



IDN Tables

- IANAのデータベースに登録されているIDNテーブルとNSpやRRAに記載しているテーブルが一致しないため、ICANNはレジストリの協力を求めています。



DNSアビューズWGの今後の活動

- WGの議長は辞任し、新たに2人のボランティアが名乗りでました。
- 今後、アビューズWGでは、アビューズ関連の議論を継続的に進め、さまざまなアウトリーチを通じて地域社会での議論の促進に努めてまいります。

レジストラ間移管ポリシー



レジストラ間移管ポリシー 進み方

Phase 1a: FOA (Form of Authorization) 及び Transfer Authorization CODE (TAC) の必要性、そしてセキュリティを調査する。

Phase 1b: Change of Registrant (CoR) 及びドメイントランスファー実施後の60日ドメインロックポリシーの必要性を見直す予定です。

Phase 2: Transfer Emergency Action Contact (TEAC)、トランスファー不承認(NACKing)、トランスファーの取り消し、紛争解決ポリシー、及びICANN 承認ありのトランスファーを調査することになっています。

・グループ 1(a):

- Form of Authorization (FOA)
- AuthInfo Code
- ドメイン移転の拒否 (Nacking)

・グループ 1(b):

- 登録者情報変更

・グループ 2

- TEAC (Transfer Emergency Action Contact (移転時緊急連絡先))
- 移転紛争解決ポリシー (Rec. 27、Wave 1 TDRP 問題を含む)
- ドメイン移転の覆し
- ICANNが承認したドメイン移転。

レジストラ間移管ポリシー



レジストラ部会



レジストラ間移管ポリシー（Bulk Transfers）

- ICANN Approved Portfolio Moves
 - Involuntary
 - 50,000 Fee is now apportioned
- BTAPPA（Bulk Transfer After Partial Portfolio Acquisition）
 - 新トランスファーポリシーに追加して、義務化にする。
 - *レジストリはRSEPにより、オプションとして提供したい。

レジストラ間移管ポリシー



レジストリ部会



レジストラ間移管ポリシー (ICANN Approved Transfers/BTAPPA)

- Preliminary Rec. 1: BTAPPAは義務化される。
- Preliminary Rec. 2: エンドユーザーへ少なくとも1ヶ月前にドメイン移転の企画を通知する。
- Preliminary Rec. 3: ドメインの有効期限は変わらない。Grace Period (猶予期間)なし
- Preliminary Rec. 4: レジストラがドメイン登録費用やICANN費用の支払いを回避しようとしているという証拠がある場合、レジストリは変更を拒否する必要がある。
- Preliminary Rec. 5: 旧レジストラ(Losing Registrar)のドメイン登録アグリーメント(Registration Agreement)でこのようなバルクドメイン移転を許可する必要がある。
- Preliminary Rec. 6: レジストリはバルク移転手続きに関連する費用をチャージしているのであれば、その費用を明確にレジストラへ共有する必要がある。
- Preliminary Rec. 7: 新レジストラ(Gaining Registrar)は新たにトランスファーロックを設定することは禁じられている。

レジストラ間移管ポリシー



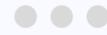
PDPから、その他



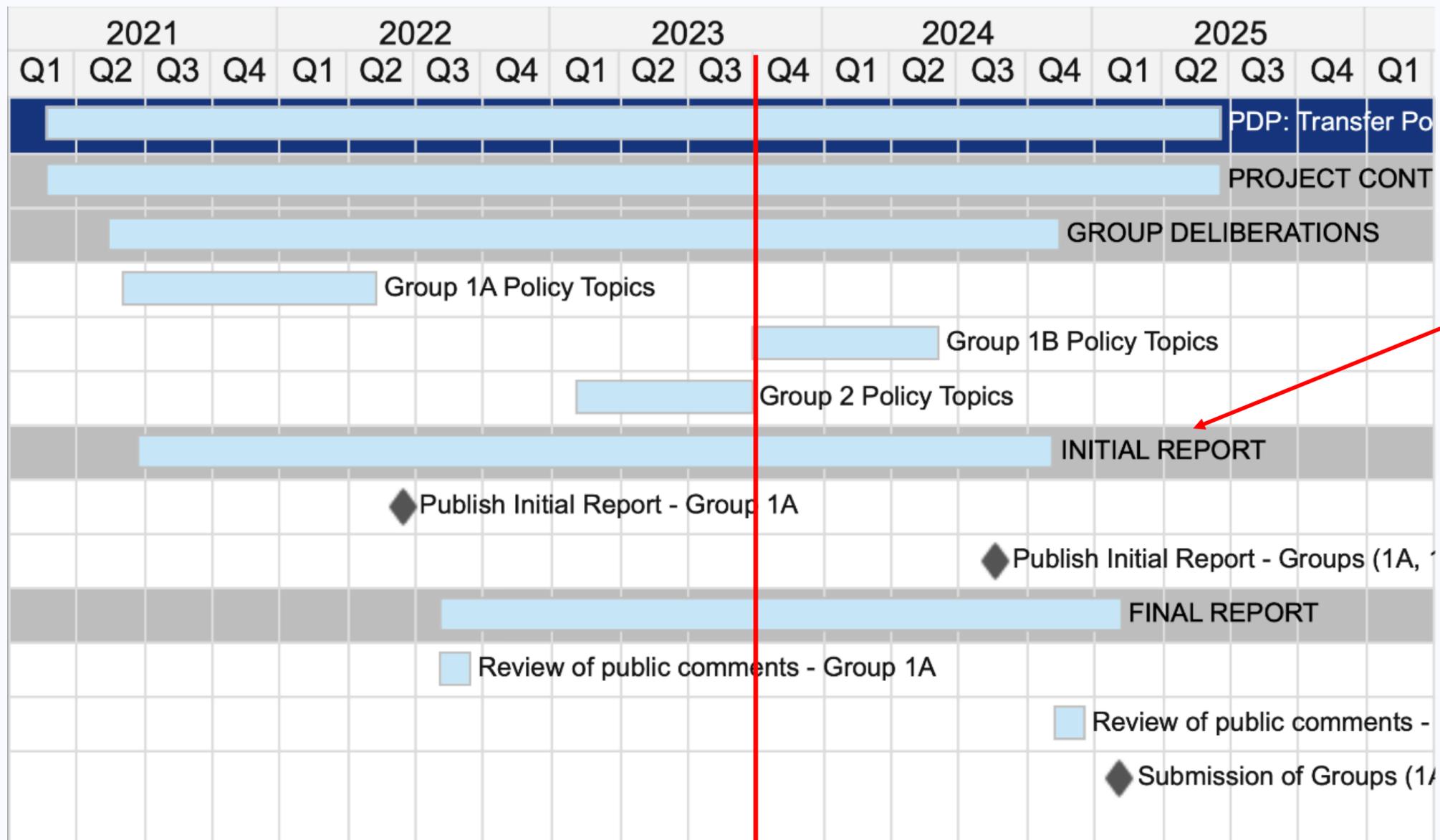
レジストラ間移管ポリシー（TEAC/TDRP）

- TEAC（Transfer Emergency Action Contact – 移転時緊急連絡先）
 - 回答期間を4時間→24時間に変更
 - 回答手段は電話→電話とEmail
 - TEACを実行する期間を30日に設定する
- TDRP（Transfer Dispute Resolution Policy - 移転紛争解決ポリシー）
 - レジストラしか利用できない手段ですので、エンドユーザー（ドメイン登録者）用にも、同様のメカニズムを検討すべきか

レジストラ間移管ポリシー



レジストラ間移管ポリシー（進捗）



https://community.icann.org/pages/viewpage.action?pageId=164626481&preview=/164626481/273454329/GNSO_TPR_Project_Package_20231015.pdf

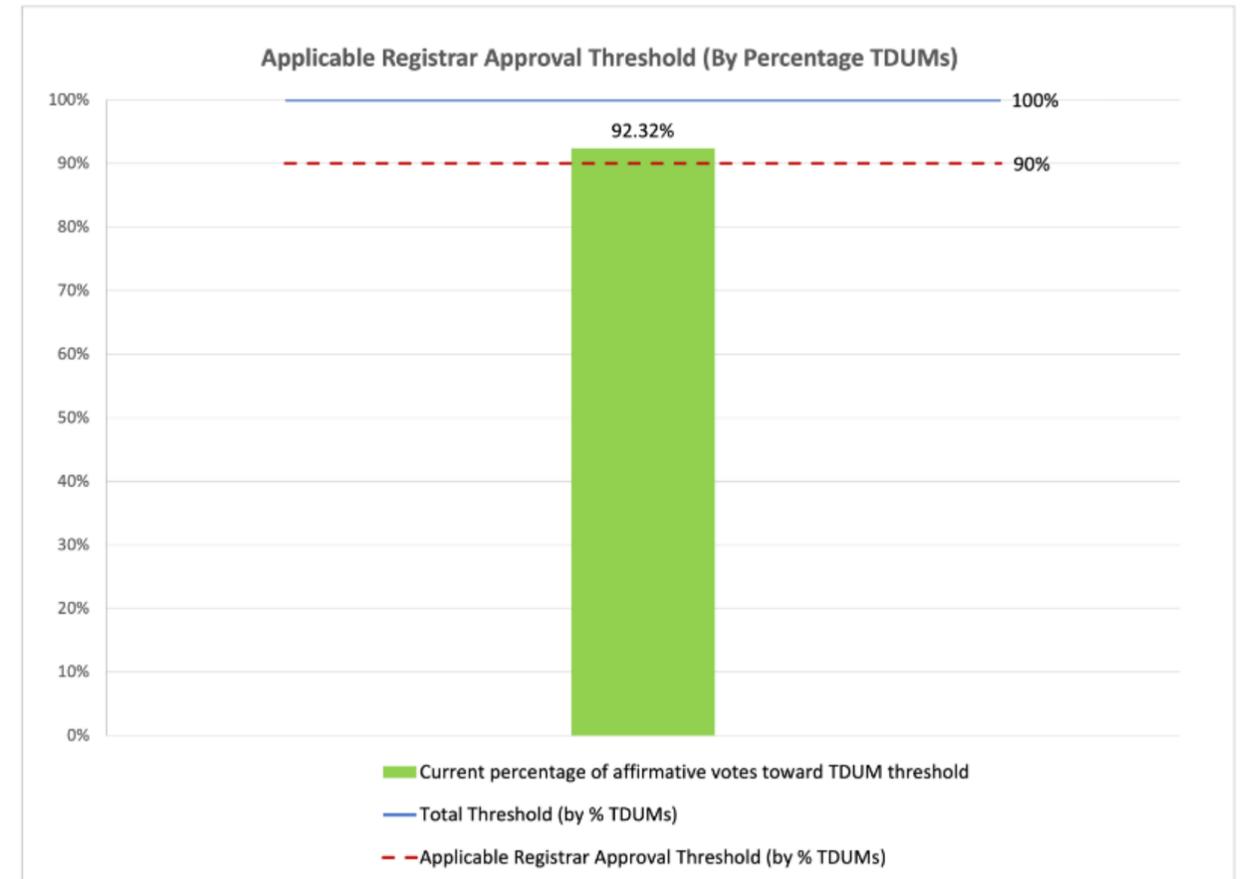
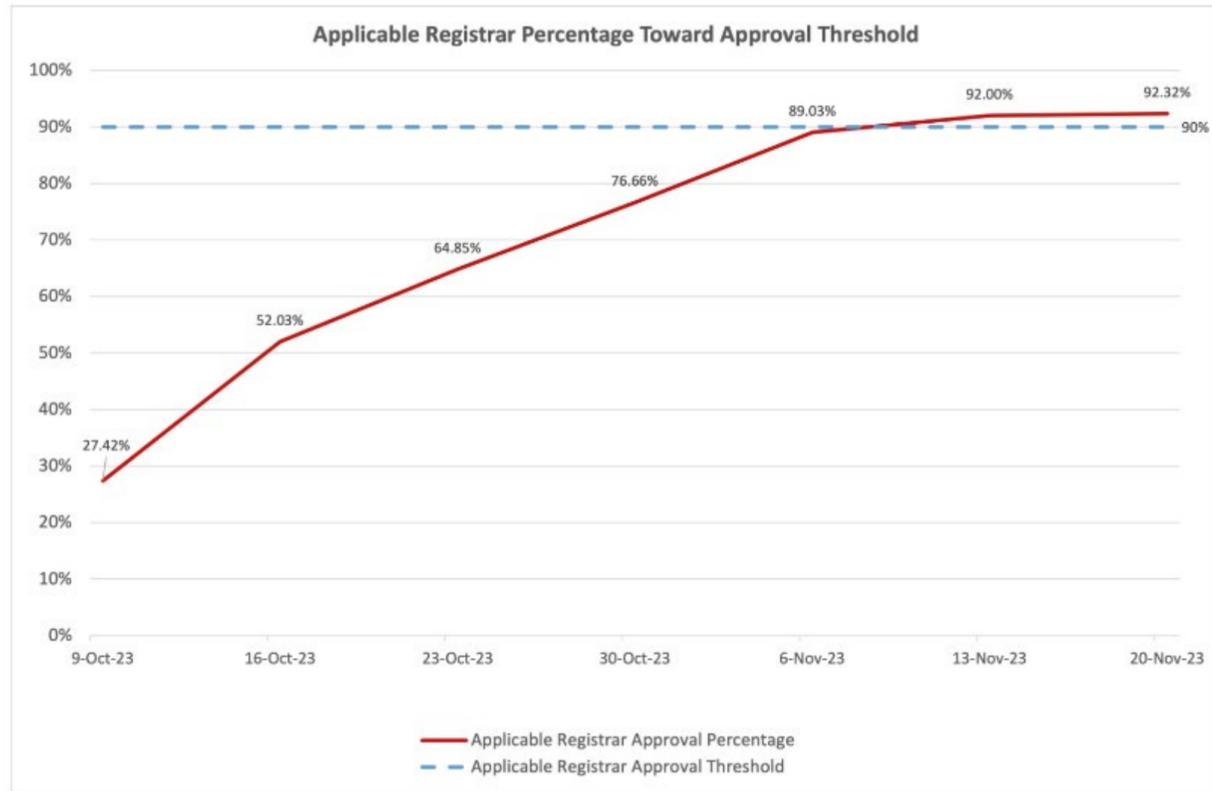
ABUSE AMENDMENT



契約のアビューズ関連改定

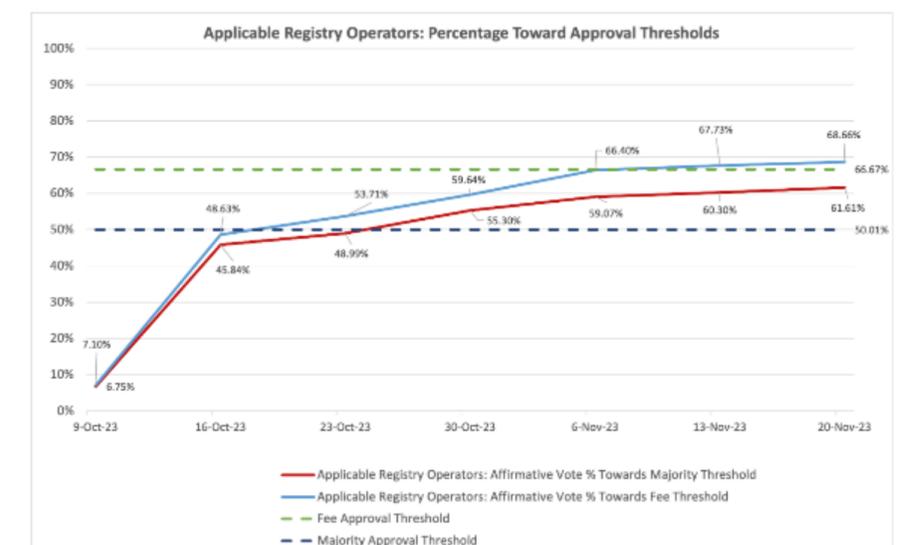
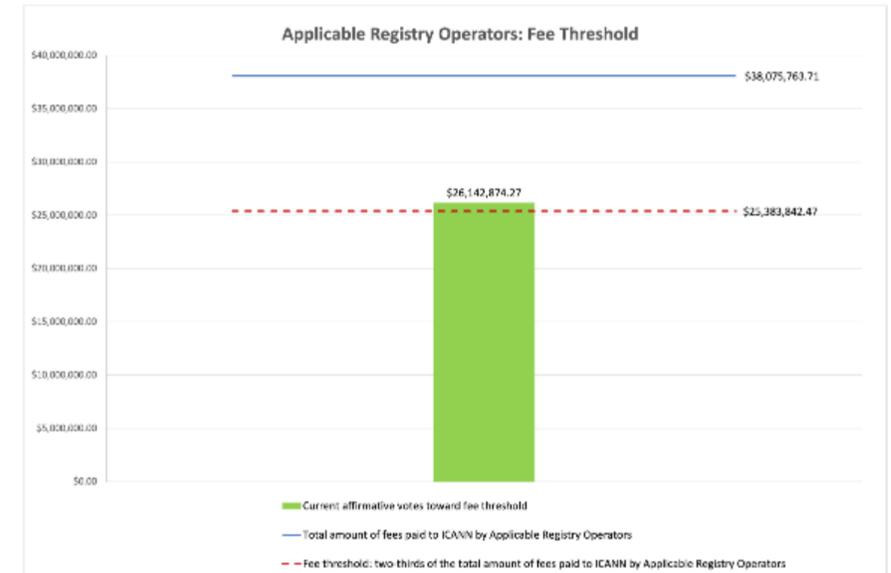
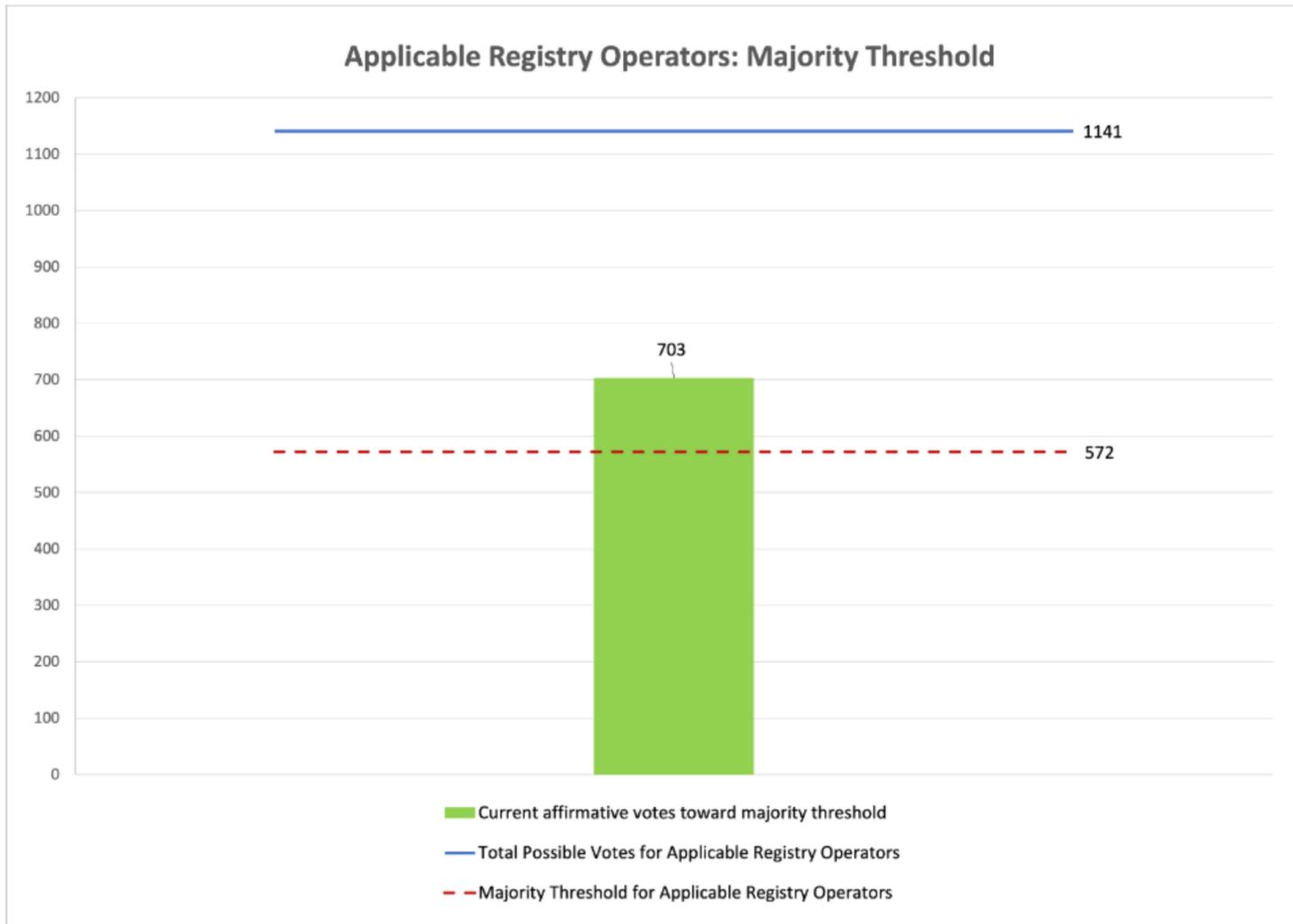
- ICANNとの交渉は2023年5月中旬に終了しました。
- レジストラとレジストリそれぞれで修正案の承認が必要で、投票は10月～12月の間に行われています。
- 11月7日の時点で承認基準が満たされています。
- 修正案が理事会で承認され、2024年のQ2にRAAとRAの改訂が実施される可能性があります。

契約のアビュース関連改定 レジストラスレッシュホールド



*2023年11月20日

契約のアビュース関連改定 レジストリスレッシュホルド

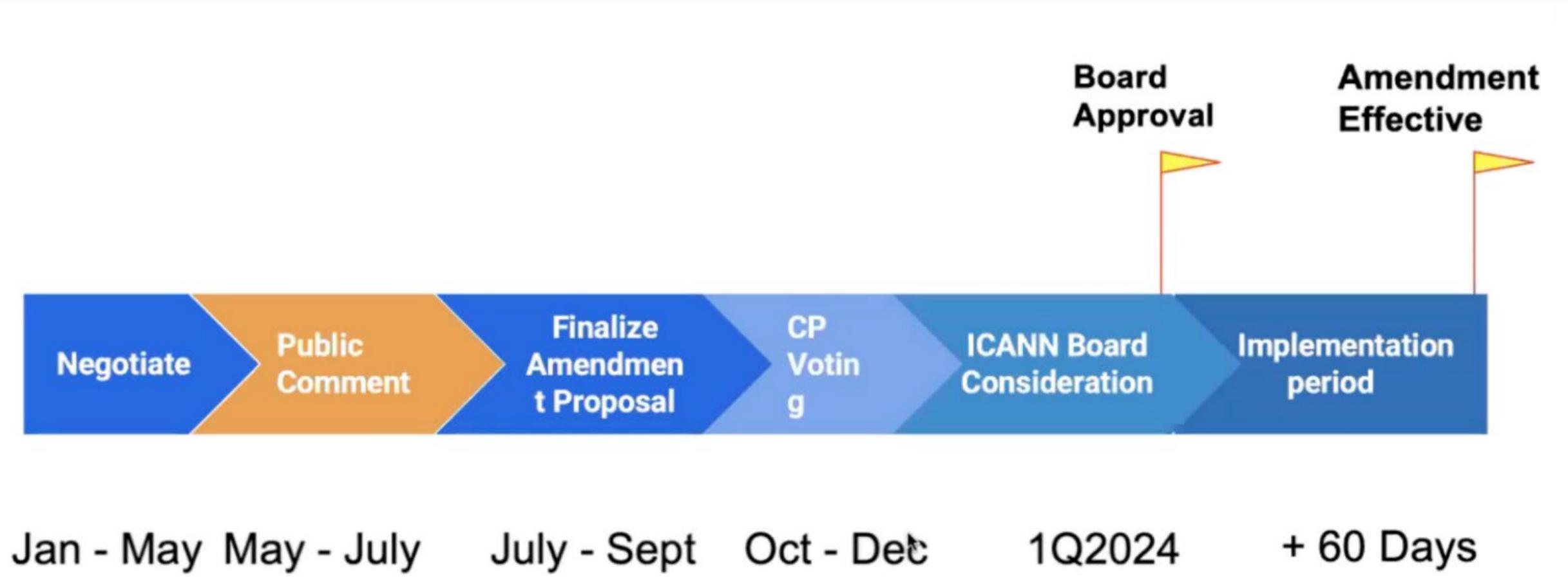


*2023年11月20日

ABUSE AMENDMENT

...

導入までのタイムライン



CP SUMMIT 開催



2024年5月6日～8日

- ヨーロッパ開催決定 (現在2つの候補地が検討されています。)
- サミットの前後にDNS Abuse関連セッションを別で設けることを検討しています。
- 前回開催するはずのサミットはパリで予定していましたが、今回はパリになるのでは？

THANK YOU



お問い合わせ

gTLD@interlink.ad.jp